実務経験のある教員等による授業科目

（農業専門課程　園芸１類学科　花き生産コース）令和５年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			園芸文化論	西欧と日本の園芸を媒体とした歴史、生活文化について学習する。	1前	30	1	○			○			○		○
○			花と緑の商品知識Ⅰ	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	1通	60	2	○			○			○		○
○			花と緑の商品知識Ⅱ	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	2前	30	1	○			○			○		○
○			分類・形態学	園芸植物の分類や形態について基本的に学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			分類・形態各論	園芸植物の分類や形態について応用的に学習する。	1後	15	0.5	○	△		○			○		○
○			土壌肥料学	土壌や肥料の基礎や土壌改良法、施肥法などについて学習する。	1前	15	0.5	○		△	○			○		○
○			土壌肥料各論	花き生産における土壌、肥料、施肥などについて学習する。	1通	15	0.5	○			○			○		○
○			病理害虫学	植物に関わる病気、害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			病理害虫各論	花き生産における病害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			園芸実習Ⅰ	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	1通	120	4	△		○	○		○			○
○			園芸実習Ⅱ	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	2前	30	1	△		○	○		○			○
○			育種・繁殖	植物の育種や繁殖・管理方法、バイオテクノロジーの基礎について学習する。	1前	30	1	○		△	○			○		○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の扱いやそれらを用いた装飾法について学習する。	1前	30	1	△		○	○		○	○	○	○
○			園芸流通	園芸業界の現状を実際の例に触れながら学習する。	1前	30	1	○			○		○	○		○
○			デザイン	デザインの構成について学習し、図面上での造形について理解させる。	1前	30	1	○	△		○			○		○
○			フラワーデザイン基礎	フラワーデザインの基礎を学習する。	1前	30	1	△		○	○			○		○
○			カラーコーディネート	色彩に関する基本的な知識や配色技法を学習する。	1前	15	0.5	○	△		○			○		○
○			造園基礎	造園史、日本庭園、西洋庭園の様式や特徴、造園材料や観察を通じて樹木の知識などを習得する。	1前	30	1	△		○	○			○		○
○			花き園芸基礎	寄せ植え、花壇作成、基本的な農業機械の扱いなど様々な園芸作業を学習する。	1前	60	2	△		○	○		○	○		○
○			花き生産技術Ⅰ	花き生産の基礎から応用を学習する。	1後	60	2	△		○	○		○			○
○			花き生産技術Ⅱ	花き生産の基礎から応用を学習する。	2通	240	8	△		○	○		○	○		○
○			商品制作Ⅰ	植物を使用した商品の制作について学習する。	1後	15	0.5	△		○	○		○	○		○
○			商品制作Ⅱ	植物を使用した商品の制作について学習する。	2通	30	1	△		○	○		○	○		○
○			生産販売流通Ⅰ	生産物の出荷、流通の仕組みを学習する。	1後	30	1	△		○	○	○	○	○		○
○			生産販売流通Ⅱ	生産物の出荷、流通の仕組みを学習する。	2通	60	2	△		○	○	○	○	○		○
○			施設管理Ⅰ	温室などの農場の施設設備の管理技術を学習する。	1後	15	0.5	△		○	○		○	○		○
○			施設管理Ⅱ	温室などの農場の施設設備の管理技術を学習する。	2通	60	2	△		○	○		○	○		○
○			花き育種・繁殖Ⅰ	花きについての品種動向や育種、繁殖技術について学習する。	1後	30	1	○		△	○		○	○		○
○			花き育種・繁殖Ⅱ	花きについての品種動向や育種、繁殖技術について学習する。	2通	60	2	○		△	○		○	○		○
○			生育・開花調節概論	花き生産における開花調整の手法を学習する。	2通	30	1	○		△	○		○	○		○
○			農業機械Ⅰ	トラクターや動力噴霧器などの農業機械の扱いについて学習する。	1後	15	0.5	△		○	○	○	○	○		○
○			農業機械Ⅱ	トラクターや動力噴霧器などの農業機械の扱いについて学習する。	2通	30	1	△		○	○	○	○	○		○
○			マーケティングⅠ	農業や園芸にかかわるマーケティングの手法について学習する。	1前	30	1	○	△		○	△		○		○
○			マーケティングⅡ	農業や園芸にかかわるマーケティングの手法について学習する。	2前	30	1	○	△		○	△		○		○
○			花き輸出入概論	花きの輸出入に関する基本的な知識を学習する。	2通	30	1	○	△		○			○		○
○			卒業研究	各自がテーマを設定し、一定期間計画的に調査・研究し、自己の専門性を高めるとともに、物事を客観的・論理的に展開する力を習得させる。また、調査・研究の過程において文献・資料の収集力・分析力を養う。	2通	180	6	△	○	△	○		○			○
○			管理実習	夏季休業中などに校内の植物の管理作業を行う。	1通	60	2			○	○		○			○
					2通	60	2			○	○		○			○
合　　計						1680	56									

実務経験のある教員等による授業科目

（農業専門課程　園芸１類学科　野菜生産コース）令和５年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			園芸文化論	西欧と日本の園芸を媒体とした歴史、生活文化について学習する。	1前	30	1	○			○			○		○
○			野菜生産各論Ⅰ	各種野菜の分類、作型、栽培、管理方法について学習する。	1通	60	2	○		△	○		○			○
○			野菜生産各論Ⅱ	各種野菜の分類、作型、栽培、管理方法について学習する。	2前	30	1	○		△	○		○			○
○			分類・形態学	園芸植物の分類や形態について学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			土壌肥料学	土壌や肥料の基礎や土壌改良法、施肥法などについて学習する。	1前	15	0.5	○		△	○			○		○
○			土壌肥料各論	野菜生産における土壌、肥料、施肥などについて学習する。	1通	15	0.5	○		△	○					○
○			病理害虫学	植物に関わる病気、害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			病理害虫各論	野菜生産における病害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			園芸実習Ⅰ	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	1通	120	4	△		○	○		○			○
○			園芸実習Ⅱ	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	2前	30	1	△		○	○		○			○
○			育種・繁殖	植物の育種や繁殖・管理方法、バイオテクノロジーの基礎について学習する。	1前	30	1	○		△	○			○		○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の扱いやそれらを用いた装飾法について学習する。	1前	30	1	△		○	○		○	○	○	○
○			園芸流通	園芸業界の現状を実際の例に触れながら学習する。	1前	30	1	○			○		○	○		○
○			デザイン	デザインの構成について学習し、図面上での造形について理解させる。	1前	30	1	○	△		○			○		○
○			フラワーデザイン基礎	フラワーデザインの基礎を学習する。	1前	30	1	△		○	○			○		○
○			カラーコーディネート	色彩に関する基本的な知識や配色技法を学習する。	1前	15	0.5	○	△		○			○		○
○			造園基礎	造園史、日本庭園、西洋庭園の様式や特徴、造園材料や観察を通じて樹木の知識などを習得する。	1前	30	1	△		○	○			○		○
○			野菜生産技術Ⅰ	野菜生産の基礎から応用を学習する。	1通	135	4.5	△		○	○		○			○
○			野菜生産技術Ⅱ	野菜生産の基礎から応用を学習する。	2通	240	8	△		○	○		○			○
○			次世代農業Ⅰ	植物工場などの次世代農業について学習する。	1後	30	1	○		△	○		○			○
○			次世代農業Ⅱ	植物工場などの次世代農業について学習する。	2通	30	1	○		△	○		○			○
○			販売技術Ⅰ	野菜の販売を行う上での調整、販売方法を学習する。	1後	15	0.5	△		○	○		○			○
○			販売技術Ⅱ	野菜の販売を行う上での調整、販売方法を学習する。	2通	45	1.5	△		○	○		○			○
○			野菜育種・繁殖Ⅰ	野菜についての品種動向や育種、繁殖技術について学習する。	1後	15	0.5	△		○	○		○			○
○			野菜育種・繁殖Ⅱ	野菜についての品種動向や育種、繁殖技術について学習する。	2前	45	1.5	△		○	○		○			○
○			食品加工論Ⅰ	安全衛生を含めた野菜の加工方法について学習する。	1後	15	0.5	○			○		○			○
○			食品加工論Ⅱ	安全衛生を含めた野菜の加工方法について学習する。	2後	15	0.5	○			○		○			○
○			加工実習Ⅰ	漬物や干し野菜などの加工や野菜の特性を活かした調理方法を学習する。	1後	15	0.5	△		○	○		○			○
○			加工実習Ⅱ	漬物や干し野菜などの加工や野菜の特性を活かした調理方法を学習する。	2後	15	0.5	△		○	○		○			○
○			農業機械Ⅰ	トラクターや動力噴霧器などの農業機械の扱いについて学習する。	1後	15	0.5	△		○	○	○	○	○		○
○			農業機械Ⅱ	トラクターや動力噴霧器などの農業機械の扱いについて学習する。	2通	45	1.5	△		○	○	○	○	○		○
○			野菜栄養学	野菜の栄養価について学習する。	2後	15	0.5	○			○		○	○		○
○			施設管理	温室などの農場の施設設備の管理技術を学習する。	2後	30	1	△		○	○		○			○
○			野菜栽培指導法	園芸教室や家庭菜園、市民農園などでの指導法について学習する。	2後	15	0.5	○		△	○		○	○		○
○			有機農法概論	有機農法の基本的な知識を学習する。	2前	30	1	○		△	○		○			○
○			マーケティングⅠ	農業や園芸にかかわるマーケティングの手法について学習する。	1前	30	1	○	△		○	△		○		○
○			マーケティングⅡ	農業や園芸にかかわるマーケティングの手法について学習する。	2前	30	1	○	△		○	△		○		○
○			農業英語	農業や園芸に関わる専門的な英語を学習する。	2後	15	0.5	○	△		○			○		○
○			卒業研究	各自がテーマを設定し、一定期間計画的に調査・研究し、自己の専門性を高めるとともに、物事を客観的・論理的に展開する力を習得させる。また、調査・研究の過程において文献・資料の収集力・分析力を養う。	2通	180	6	△	○	△	○		○			○
○			管理実習	夏季休業中などに校内の植物の管理作業を行う。	1通	60	2			○	○		○			○
					2通	60	2			○	○		○			○
合　　計						1680	56									

実務経験のある教員等による授業科目

（農業専門課程　園芸１類学科　グリーンコーディネートコース）令和５年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			園芸文化論	西欧と日本の園芸を媒体とした歴史、生活文化について学習する。	1前	30	1	○			○			○		○
○			花と緑の商品知識Ⅰ	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	1通	60	2	○			○			○		○
○			花と緑の商品知識Ⅱ	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	2前	30	1	○			○			○		○
○			分類・形態学	園芸植物の分類や形態について学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			土壌肥料学	土壌や肥料の基礎や土壌改良法、施肥法などについて学習する。	1前	15	0.5	○		△	○			○		○
○			病理害虫学	植物に関わる病気、害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			園芸実習Ⅰ	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	1通	120	4	△		○	○		○			○
○			園芸実習Ⅱ	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	2前	30	1	△		○	○		○			○
○			育種・繁殖	植物の育種や繁殖・管理方法、バイオテクノロジーの基礎について学習する。	1前	30	1	○		△	○			○		○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の扱いやそれらを用いた装飾法について学習する。	1前	30	1	△		○	○		△	○	○	○
○			園芸流通	園芸業界の現状を実際の例に触れながら学習する。	1前	30	1	○			○		○	○		○
○			デザイン	デザインの構成について学習し、図面上での造形について理解させる。	1前	30	1	○	△		○			○		○
○			フラワーデザイン基礎	フラワーデザインの基礎を学習する。	1前	30	1	△		○	○		○	○		○
○			カラーコーディネート	色彩に関する基本的な知識や配色技法を学習する。	1前	15	0.5	○	△		○			○		○
○			造園基礎	造園史、日本庭園、西洋庭園の様式や特徴、造園材料や観察を通じて樹木の知識などを習得する。	1前	30	1	△		○	○			○		○
○			植物管理技術Ⅰ	校内で管理している見本植物を用いて、分類や管理のポイントを学習する。	1通	60	2	△		○	○			○		○
○			植物管理技術Ⅱ	校内で管理している見本植物を用いて、分類別に維持管理と繁殖等を行う。	2通	90	3	△		○	○		○			○
○			施設管理Ⅰ	植物の適切な管理を行うための温室や圃場の環境整備を行う。	1後	30	1	△		○	○		○	○		○
○			施設管理Ⅱ	植物の適切な管理を行うための温室や圃場の環境整備を行う。	2通	60	2	△		○	○		○	○		○
○			グリーンサービス基礎	グリーンサービスに関わる観葉植物の扱いを学習する。	1前	30	1	△		○	○		○			○
○			グリーンコーディネート実践Ⅰ	装飾作品の校内、商業施設での展示やコンテストへ出展するための一連の流れを学習する。	1後	120	4	△		○	○		○	○		○
○			グリーンコーディネート実践Ⅱ	装飾作品の校内、商業施設での展示やコンテストへ出展するための一連の流れを学習する。	2通	300	10	△		○	○		○	○		○
○			特殊空間緑化	屋上緑化、屋内緑化、壁面緑化の基礎を学習する。	2前	30	1	○		△	○		○	○		○
○			ガーデニング	ガーデンの設計や施工、コンテナガーデンやハンギングバスケットの制作を学習する。	2前	30	1	△	△	○	○		○	○		○
○			インテリア商品制作Ⅰ	観葉植物を用いた商品制作やその配置について学習する。	1後	30	1	○		△	○		○			○
○			インテリア商品制作Ⅱ	観葉植物を用いた商品制作やその配置について学習する。	2前	30	1	○		△	○		○			○
○			植物販売技術Ⅰ	陳列やPOPなどを中心に販売促進の基礎を学習する。陳列等を含めた園芸店やガーデンセンターでの販売促進や仕入れから販売までの流れを学習する。	1後	30	1	○		△	○			○		○
○			植物販売技術Ⅱ	陳列やPOPなどを中心に販売促進の基礎を学習する。陳列等を含めた園芸店やガーデンセンターでの販売促進や仕入れから販売までの流れを学習する。	2前	30	1	○		△	○			○		○
○			マーケティングⅠ	農業や園芸にかかわるマーケティングの手法について学習する。	1前	30	1	○	△		○	△		○		○
○			マーケティングⅡ	農業や園芸にかかわるマーケティングの手法について学習する。	2前	30	1	○	△		○	△		○		○
○			園芸指導技術	園芸講座の計画から運営までを実践的に学習する。	2前	30	1	○		△	○	○	○	○		○
○			卒業研究	各自がテーマを設定し、一定期間計画的に調査・研究し、自己の専門性を高めるとともに、物事を客観的・論理的に展開する力を習得させる。また、調査・研究の過程において文献・資料の収集力・分析力を養う。	2通	150	5	△	○	△	○		○			○
○			管理実習	夏季休業中などに校内の植物の管理作業を行う。	1通	60	2			○	○		○			○
					2通	60	2			○	○		○			○
合　　計						1740	58									

実務経験のある教員等による授業科目

（農業専門課程　園芸１類学科　フラワーコーディネートコース）令和５年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			園芸文化論	西欧と日本の園芸を媒体とした歴史、生活文化について学習する。	1前	30	1	○			○			○		○
○			花と緑の商品知識Ⅰ	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	1通	60	2	○			○			○		○
○			花と緑の商品知識Ⅱ	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	2前	30	1	○			○			○		○
○			分類・形態学	園芸植物の分類や形態について学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			土壌肥料学	土壌や肥料の基礎や土壌改良法、施肥法などについて学習する。	1前	15	0.5	○		△	○			○		○
○			病理害虫学	植物に関わる病気、害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			園芸実習Ⅰ	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	1通	120	4	△		○	○		○			○
○			園芸実習Ⅱ	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	2前	45	1.5	△		○	○		○			○
○			育種・繁殖	植物の育種や繁殖・管理方法、バイオテクノロジーの基礎について学習する。	1前	30	1	○		△	○			○		○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の扱いやそれらを用いた装飾法について学習する。	1前	30	1	△		○	○		△	○	○	○
○			園芸流通	園芸業界の現状を実際の例に触れながら学習する。	1前	30	1	○			○		○	○		○
○			フラワーデザイン基礎	フラワーデザインの基礎を学習する。	1通	120	4	△		○	○		○			○
○			デザイン	デザインの構成について学習し、図面上での造形について理解させる。	1前	30	1	○	△		○			○		○
○			カラーコーディネートⅠ	色彩に関する基本的な知識や配色技法を学習する。	1前	15	0.5	○	△		○			○		○
○			カラーコーディネートⅡ	カラーコーディネートの応用としてアレンジメント等を作成する。	2前	30	1	○	△		○			○		○
○			造園基礎	造園史、日本庭園、西洋庭園の様式や特徴、造園材料や観察を通じて樹木の知識などを習得する。	1前	30	1	△		○	○			○		○
○			フラワーデザイン応用	ヨーロピアンスタイルなど基礎を基にした様々な作品制作技術を習得する。	2通	180	6	△		○	○			○		○
○			フラワーデザイン実践Ⅰ	いろいろなスタイルのアレンジメントや花束の制作技術を習得する。	1後	60	2	△		○	○		○	○	○	○
○			フラワーデザイン実践Ⅱ	イベントや学校外での装飾技術を計画から作成まで一連の流れを通して学習する。	2通	90	3	△		○	○			○	○	○
○			商品知識Ⅰ	切り花や鉢物の商品知識を学習する。	1通	30	1	△		○	○		○			○
○			商品知識Ⅱ	切り花や鉢物の商品知識を学習する。	2通	45	1.5	△		○	○		○			○
○			ショップビジネスⅠ	店舗運営に関する知識、技術（接客、陳列、経営など）を実習を交えながら習得する。	1通	30	1	△		○	○		○			○
○			ショップビジネスⅡ	店舗運営に関する知識、技術（接客、陳列、経営など）を実習を交えながら習得する。	2通	90	3	△		○	○		○	○		○
○			商品企画制作Ⅰ	母の日やクリスマスなどイベント時の商品制作について計画から学習する。	1後	15	0.5	△		○	○		○	○		○
○			商品企画制作Ⅱ	母の日やクリスマスなどイベント時の商品制作について計画から学習する。	2通	120	4	△		○	○		○	○		○
○			空間装飾Ⅰ	広い空間での植物を使用した装飾技術を習得する。	1後	45	1.5	△		○	○		○			○
○			空間装飾Ⅱ	広い空間での植物を使用した装飾技術を習得する。	2通	120	4	△		○	○		○			○
○			ブライダルフラワーⅠ	ブーケや卓上装花などのブライダル関連の商品制作やマナーについて学習する。	1後	30	1	△		○	○	○	○	○		○
○			ブライダルフラワーⅡ	ブーケや卓上装花などのブライダル関連の商品制作やマナーについて学習する。	2通	45	1.5	△		○	○	○		○		○
○			フューネラルフラワー	祭壇などの葬儀関連の商品制作やマナーについて学習する。	2前	30	1	△		○	○	○		○		○
○			ビジネス文書	ビジネス文書作成について学習する。	1通	15	0.5	○	△		○		○	○		○
○			管理実習	夏季休業中などに校内の植物の管理作業を行う。	1通	60	2			○	○		○			○
					2通	60	2			○	○		○			○
合　　計						1710	57									

実務経験のある教員等による授業科目

（農業専門課程　園芸１類学科　造園コース）令和５年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務経験のある教員
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			園芸文化論	西欧と日本の園芸を媒体とした歴史、生活文化について学習する。	1前	30	1	○			○			○		○
○			花と緑の商品知識Ⅰ	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	1通	60	2	○			○			○		○
○			花と緑の商品知識Ⅱ	鉢花、切花、樹木といった園芸や造園に利用する素材について、名称・管理方法などについて学習する。	2前	30	1	○			○			○		○
○			分類・形態学	園芸植物の分類や形態について学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			土壌肥料学	土壌や肥料の基礎や土壌改良法、施肥法などについて学習する。	1前	15	0.5	○		△	○			○		○
○			病理害虫学	植物に関わる病気、害虫、その対処法などについて学習する。	1前	15	0.5	○			○			○		○
○			園芸実習Ⅰ	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	1通	120	4	△		○	○		○			○
○			園芸実習Ⅱ	花壇作成や植物の管理方法など農場での実習を行う。	2前	30	1	△		○	○		○			○
○			育種・繁殖	植物の育種や繁殖・管理方法、バイオテクノロジーの基礎について学習する。	1前	30	1	○		△	○			○		○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の扱いやそれらを用いた装飾法について学習する。	1前	30	1	△		○	○		△	○	○	○
○			園芸流通	園芸業界の現状を実際の例に触れながら学習する。	1前	30	1	○			○		○	○		○
○			デザイン	デザインの構成について学習し、図面上での造形について理解させる。	1前	30	1	○	△		○			○		○
○			フラワーデザイン基礎	フラワーデザインの基礎を学習する。	1前	30	1	△		○	○		○	○		○
○			カラーコーディネート	色彩に関する基本的な知識や配色技法を学習する。	1前	15	0.5	○	△		○			○		○
○			造園基礎知識	造園に関わる基本的な知識を学習する。	1前	30	1	○		△	○		○			○
○			造園基礎技術	造園に関わる基本的な技術を学習する。	1前	30	1	△		○	○		○	○		○
○			造園概論	造園史、日本庭園、西洋庭園の様式や特徴、造園材料や観察を通じて樹木の知識などを習得する。	1前	30	1	○	△		○		○			○
○			造園計画	図面の描き方、記号の表記方法、道具の使用方法、図面の読み取り方法等について学習する。	1後	90	3	○	△	△	○	△	○			○
○			造園施工Ⅰ	造園施工の基礎から応用までの必要な知識、技術を学習する。	1後	60	2	△		○	○		○	○		○
○			造園施工Ⅱ	造園施工の基礎から応用までの必要な知識、技術を学習する。	2通	180	6	△		○	○		○	○		○
○			造園管理Ⅰ	施工を行う上での必要経費の積算方法や、病害虫防除を含めた施工後の庭園の管理について学習し、実際に管理実習も行う。	1後	60	2	△		○	○		○	○	○	○
○			造園管理Ⅱ	施工を行う上での必要経費の積算方法や、病害虫防除を含めた施工後の庭園の管理について学習し、実際に管理実習も行う。	2通	180	6	△		○	○		○	○	○	○
○			樹木学Ⅰ	樹木の名称や、特徴、見分け方などを学習する。	1前	30	1	○	△	△	○		○	○		○
○			樹木学Ⅱ	樹木の名称や、特徴、見分け方などを学習する。	2前	30	1	○	△	△	○			○		○
○			装飾技術	寄せ植えなどの植物を使用した装飾技術について学習する。	1後	30	1	△		○	○	△	○			○
○			造園設計	図面作成を行いながら、設計について学習する。	2前	60	2	△	△	○	○	△	○			○
○			造園材料	石や砂、竹、芝など造園に必要な材料の知識とそれらの扱いについて学習する。	2後	60	2	△		○	○		○			○
○			環境緑化	都市緑化や生態系など造園に関わる環境や緑化技術について実習や調査を交えながら学習する。	2前	45	1.5	△		○	○	△	○	○	○	○
○			フィールドワーク	実際に校外での観察を行い、自然環境での植生や生態系について学習する。	2通	45	1.5			○		○		○		○
○			測量	平板測量やトランシットについて学習する。	2前	60	2	△	△	○	○			○		○
○			課題学習	造園に関連したイベント、見学場所やそれぞれの進路に応じたテーマを設定し、調査、研究しまとめる。	2通	120	4	△	○	△	○	△	○	○		○
○			管理実習	夏季休業中などに校内の植物の管理作業を行う。	1通	60	2			○	○		○			○
					2通	60	2			○	○		○			○
合　　計						1740	58									